

# 山 弓 連 令和2年第3号

令和3年2月 発行：山梨県弓道連盟

## 新時代のスタートと捉える

### ～「コロナ禍」での弓道の在り方～

山梨県弓道連盟会長 菊池敏彦

明けましておめでとうございます。令和3年、五年がスタートしましたが、昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大により、今年も様々な制限が加えられ不自由を強いられる一年となりそうなる年明けとなりました。

昨年を振り返りますと、4月に緊急事態宣言が出され、全日本弓道連盟の主催・主管する講習会・審査会・大会がすべて中止となり、県連行事も8月までは、7月の遠の大会を除き、大会・審査会・講習会を中止せざるをえませんでした。9月以降の行事については感染予防（いわゆる「三密」回避、手洗い、消毒の徹底等）を図りながら、会員の皆様方のご理解ご協力をいただく中で、従来の形式を柔軟に変更しながら大会、審査会、講習会を開催することができました。高校生の二段までの審査がビデオ形式になったのはその象徴的な変更でした。また、五段の審査を2回実施することができ、5人の合格者が生まれたことは大きな成果でもありました。

コロナ禍は、私たちの日常に多くの変革をもたらしてきました。リモートワーク、オンライン授業、時差出勤・時差登校、無観客での各種大会の開催、リモートコンサート、リモート飲み会など、仕事・学業・芸術・スポーツなどすべての面にわたりました。その中で、やむを得ず中止となった行事も多岐・多数にわたるなか、創意工夫をする中で、秋以降は実施にこぎつける行事もたくさんあったのは救いでもありました。

コロナ禍は、私たちの行動に大きく制限を加えてきました。その点では大変なマイナスを私たちに強いてきていますが、考え方を变えて、私たち

の常識・慣例について根本から見直す良い機会（チャンス）と捉えると前向きな積極的な行動が生まれるように思います。道場での活動時間が減った分、その時間を自宅でできること（イメージトレーニング、体幹トレーニング、四姿勢・八動作の反復、弓道教本等関連の書籍をじっくりと読み込む等々）にあててみてはいかがでしょうか。また、会場の使用制限は、行事の在り方を見直すチャンスでもあり、会員の知恵を集め、より合理的な行事の運営に取り組みたいと考えます。

令和3年、弓道に関する創意工夫のある行動が、個人レベルでも、支部レベルでも、県レベルでもできれば、やがてコロナ禍が終息し、伸び伸び弓道ができるようになった時に大きな成果となって出てくることを信じて、未曾有の状況を乗り切っていきましょう。

## 大会結果

### 令和3年初射会

令和3年1月10日（日）小瀬武道館弓道場  
令和3年のスタートを切る初射会では、菊池会長の年頭の挨拶の後、令和2年の昇格・昇段者の紹介と記念品が授与された。

射会に先立ち、昇格・昇段者による答射礼が披露された。

昇格・昇段者

山下 弘行	錬士六段
渡辺 洋	錬士六段
上條 剛央	錬士六段
標 哲也	教士六段



超える参加者が予測されたため、今年度は各支部  
2チームまでの制限で大会が開催された。  
得点制のため、最後の1本で大逆転がおきるなど  
今大会も1点を争う熱戦が繰り広げられた。

成績は以下の通り。

競技内容： 3人団体戦 各自4矢2回 得点制（中心から10、7、5、3点）  
参加申込チーム 28チーム 参加者 76名

【団体】

高校生の部

	チーム名	選手名	得点
優勝	富士河口湖 A	渡邊 一輝	61
		井上 雄貴	
		佐野 巨曙	
準優勝	葦崎高B	佐久間 美月	37
		土井 和奏	
		森澤 りょう	
第三位	都留興譲館 B	渡部 真生	35
		杉山 日和子	

社会人の部

	チーム名	選手名	支部名	得点
優勝	若草弓道場	田中 杏梨	南7月7日 支部	70
		小松 ゆかり		
		大和田 幸子		
準優勝	白根弓道場	内藤 良太	南7月7日 支部	67
		長澤 和久		
		中込 実		
第三位	葦高OB	山本 貴幸	葦崎支部	67
		内藤 一貴		
		伊藤 大智		

上位得点本数による

射会は色的を使用し得点制で行われ、1点を競り合う展開となった。

【個人】

高校生 最高得点賞 28点 佐野 巨曙 富士河口湖高校

社会人 最高得点賞 38点 内藤 一貴 葦崎支部

【ゴールド賞】（10点の中賞）

田中 杏梨	（南7月7日支部）	渡辺 純子	（中央支部）
古屋 清記	（山梨支部）	古屋 哲人	（大月支部）
小林 好雄	（大月支部）	山下 弘行	（山梨支部）
渡邊 三千恵	（上野原高校）	内藤 良太	（南7月7日支部）
上條 瑞	（甲府支部）		



編集後記

いまだ緊急事態宣言が出されている中ですが、弓道界でもリモート大会など新しいスタイルができてつあります。我々もこの流れに遅れず対応していきたいと思ひます。

koho39ren@kyudo-yamanashi.com (綿奈部)



## 射会の結果

射数 祝射一手と四ツ矢 計6射

参加申込人数 66名 参加者 59名

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果
優勝	高部 保延	都留	錬士五段	6	
2位	伊藤 大智	葦崎	五段	5	遠近競射
3位	久保寺 美恵子	甲府	五段	5	



入賞されたみなさん

## 高校3年生・社会人交流大会

令和3年2月7日(日) 小瀬武道館弓道場

昨年からの大会は団体戦得点制とし、日頃あまり使うことのない色的を使用して行われた。ただ今年、弓道場の使用人数制限(100名)を